

お名前: Y.I 様 プログラム: 長期留学

1. ビクトリアを留学の都市に選んだ理由は？

当初はイギリスへ YMS ビザで渡航をしたかったのですが 5 回落選してしまったため、次に興味のあるカナダを選び、ビクトリアにはイギリス文化が残っていると聞きビクトリアへの渡航を決めました。結果、ビクトリアへ行けたことはイギリスへ行くよりも断然良かったと思っています。

2. 数あるエージェントの中から、ビクトリア留学.com をお選びいただいたご理由、また利用いただいてのご感想をお聞かせください。

他のエージェントは問い合わせをするとすぐに分厚い資料を送ってきたり電話やメールが頻繁にきたりして勢いが少し怖かったのですが、ビクトリア留学.com に問い合わせをした際はそのようなことはなく、羽田さんが色々な情報を教えてくださりとても安心感が強かったです。やりとりをするうちに羽田さんをお願いしたいと思うようになりました。こちらの要望に合わせて色々な提案をしていただき、また希望の予算の相談にも乗ってくださり大変助かりました。

◎学校編**1. 学ばれた学校名とコース名をお知らせください。**

Global Village, ESL 25lesson

2. 授業では、どのようなことを学びますか？（詳しく教えて下さい）

8:45～12:00

モーニングクラス(メインクラス)

8:45～10:25 会話によるウォーミングアップののち、前日の宿題の答え合わせと解説。その後はその週の文法をメインに先生の解説と生徒たちによる実践練習。

10:40～12:20 15 分のブレイクタイムを挟んだのちは、文法に囚われすぎずリスニングやリーディング、グループディスカッションやプレゼンテーションなど、各先生が構成した内容に沿って英語を実際に使っていくレッスン。

13:05～14:10

オプション 1 クラス。

4 週ごとにクラス替えがあるのでさまざまなクラスを取ることができる。例えば、リスニング強化クラス、映画を見ながらスラングやボキャブラリーを学ぶクラス、スピーキングクラス、読解クラス、発音練習クラス等。

3. この学校にして良かったと思うところやお勧めポイントは何ですか？

- ・とにかく活気があり生徒がみな楽しんで学校にきている、愛校心が感じられる。
- ・ベテランの先生が多い。特に自分が教わった複数の先生のうち 2 名の先生が本当に質が高く、この先生に出会えて良かったと思った。
- ・週ごとに文法が変わるので毎週新鮮な気持ちでスタートできる。
- ・たくさんの国のいろんな年代の人たちと知り合える。
- ・アクティビティが豊富で勉強以外にも楽しめるし交友関係が広がる。
- ・授業終わりに学校が閉まるまでの時間、ラウンジで友達と話したり宿題をしたり自由に過ごせる。
- ・窓が多く、室内にいてもビクトリアの気候を堪能できる(青空や虹や稀に雪など)。

◎生活編

1.ビクトリア留学/ワーホリで一番の思い出は何ですか？

・学校のアクティビティで参加したアイスホッケーの試合観戦以来、ホッケーにどハマりしてしまい滞在中に合計13回試合を見に行きました。学校の友達を誘うとみんなも来てくれて、最大12人で観戦に行ったのはすごく楽しかったしカナダならではの思い出ができたと思います。

2.ビクトリア留学.comの厳選ホームステイへの感想をお聞かせください。

・実際にホームステイが始まるまでは、経験者からたくさんのネガティブな情報を聞いていて不安が大きかったです。実際にホームステイに不満を抱えてチェンジをしている友人も複数いましたが、私がお世話になったホームステイ先はおうちも綺麗でホストファミリーも学生に大変理解があり、細かいルールもほとんどなくとても伸び伸び生活することができました。ホストマザーの手料理が毎回とてもおいしかったです。

最後に、現在ビクトリア留学やワーホリを検討中の方へ、アドバイスをお願いします！

ビクトリアへ1年留学して、すっかりビクトリアの虜になってしまいました。日本へ帰りたくなってしまうほど大好きになりました。実際そういう知人も多く、帰国後にまたなんらかの形でビザを得て再渡航した人もいます。それくらい魅力的な場所なのだと思います(私も再渡航計画中です)。もちろん合う人合わない人がいるとは思いますが、ビクトリアでしかできない経験ができることは間違いないので、渡航検討中の方はぜひ行ってほしいです！まずは羽田さんになんでも相談してみると、色々見えてきて実現に繋がるとと思いますので、ぜひご連絡を試みてください。

アンケートを書いて改めて、出発前に羽田さんに大変お世話になっていたことも思い出しました。これからもたくさんの人が羽田さんに出会い、ビクトリアに飛び立ってくれるといいなあと思います！！



